

センター だより

第37号

多可町

西脇市

平成28年7月1日発行

公益社団法人



西脇・多可

シルバー人材センター

本部
西脇市支部

〒677-0024

西脇市嶋253-1

TEL 0795-23-5686

FAX 0795-23-1568

E-mail: nisitaka@sjc.ne.jp

多可町支部

〒679-1114

多可郡多可町中区岸上281-22

TEL 0795-32-2209

FAX 0795-32-4131

E-mail: nitasc@sjc.ne.jp



余暇村公園



センターだよりの案内

- ・理事長あいさつ 2
- ・平成二十八年度事業計画と予算 3
- ・平成二十七年度決算・頭の体操 4
- ・アンケート調査について 5
- ・安全・適正就業推進委員会からのお知らせ 6
- ・熱中症を防ぐため&蜂に刺されたら!! 7
- ・会員募集・会員のひろば・新任ご挨拶・ホームページリニューアル 8

理事長あいさつ



理事長

片岡 徹

ひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃となりましたが、会員の皆様におかれましては、ご健勝の事とお慶び申し上げます。

去る五月三十日の総会におきましては、多数の会員の皆様のご出席のもと、すべての議案をご承認いただき、誠にありがとうございました。

平成二十七年度を振り返りかえりますと、地方経済が低迷する中、当センターにおきましては、受託事業収益が僅かではありますが一昨年度より11パーセント伸びるとともに、会員数も二十名増加し九百名台を回復する事が出来ました。

これも会員の皆様のご努力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、今年度は新たな取り組みとして、昨年度の事故多発を教訓とした安全就業への取り組みと、さらなる就業機会の拡大に向けた取り組みを進める計画としております。

安全就業に関する取り組みとしては、四月より既に実施しておりますが、事故が多く発生した就業種別ごとの研修会の開催や、安全就業ハンドブックの改定と配布を行ってまいりますので、これまで以上に安全就業への意識を高めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

就業機会の拡大に向けた取り組みにつきましては、平成二十九年度より西脇市と多可町で予定されております介護予防・日常生活支援総合事業のうち、身体介護を除く訪問型の家事支援サービスへの参入を目指して、家事援助サービス研修会を開催し、会員の育成と新たな会員確保を図ってまいります。

受講者数に制限はありますが、会員の皆様の積極的な参加と、知人への入会呼びかけ等ご協力をよろしくお願いいたします。

平成二十八年度も、シルバー人材センターを取り巻く地域の経済状況は依然として厳しいものがありますが、シルバーの「自主・自立・共働・共助」の理念を大切に、会員の皆様と役員、職員が丸となって前進していきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

家事援助サービス研修会



介護保険制度の改正により、平成29年度から要支援1・2の方やそれに準じる方のサービスとして、介護予防・日常生活支援総合事業が開始されます。これに伴い、西脇・多可シルバー人材センターでは、新規事業として平成29年度から取り組んでいくこととしております。まずは従事できる会員の募集と育成を目的として研修会を7月に開催します。日程の関係等で参加できない方・再度研修を希望する方は、9月上旬に兵庫県シルバー人材センター協会主催の生活支援（介護・清掃・調理）の講習会が開催されます。締め切りが8月中旬になりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

	日 時	講 義 内 容	講 師
①	7月11日(月) 13:30~15:30	コミュニケーション技術	心理スペースほれぼれ 稲松 由佳 講師
②	7月13日(水) 13:30~15:30	家事援助のポイント・マナー(清掃・買い物等)	介護福祉士 横道 恵子 講師
③	7月20日(水) 13:30~15:30	介護の基本と個人情報の取扱いとプライバシー	社会福祉士事務所 富田 久代 講師
④	7月25日(月) 13:30~15:30	認知症の理解と接し方	認知症サポーターキャラバン 岡本さとみ 講師
⑤	7月27日(水) 13:30~15:30	車椅子の介助について 外出の注意点	介護福祉士 横道 恵子 講師

二十八年度事業計画と予算

去る五月三十日北はりま職業訓練センターに於いて、会員一五九名の出席の下、平成二十八年度定時総会を開催し、平成二十八年度事業計画と予算を報告しました。

事業計画

日本の六十五歳以上の人口が総人口に占める割合はすでに25%を超え、今から約四十五年後には高齢化率は40%になると推計されています。

このように高齢化率が高まる中で、シルバー人材センターは高齢者が有する長い経験と知識・能力を活用し、地域社会づくりに寄与するため、地域社会に密着した臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な業務への就業により、高齢者の就業機会の創造・増大と福祉の増進を図ることを目的としています。

国においては、昨年度より予算化された高齢者活用・現役世代雇用サポートにおいて対象事業が拡大されるなど、シルバー人材センターの役割はますます重要になっています。

国の成長戦略に應えるためには

「就業機会の確保・拡大」と「会員数の拡大」に努めることが重要です。

そのためには、一昨年策定した中期事業計画に沿って、高齢者の生きがいづくり・居場所づくりなど地域になくはない存在としての役割を果たすために「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、会員・役員・職員が互いに協力し、会員拡大の推進や就業機会の開拓、適正就業の推進に取り組んでまいります。

事業内容

* 中期事業計画の推進

今後ともシルバー事業の前途には様々な課題が立ちあはだかると考えられますが、「自主・自立・共働・共助」の理念を大切にし、会員・役職員が協力して中期事業計画の推進に取り組めます。

* 安全就業の推進

●安全・適正就業ハンドブックの改定による啓発や、安全・適正就業推進委員等による作業現場の巡回指導等により、事故防止に努めます。

●健康診断の受診を促すとともに、会員の健康状態の把握に努めます。またセンターだより等を通

じて、会員各自での健康管理を促します。

●夏季の熱中症対策や事故多発時等に、必要に応じて啓発文書を配布し、会員への注意喚起に努めます。

* 適正就業の推進

●会員の就業は「臨時的かつ短期的（月10日を超えない）又はその他の軽易（週20時間を超えない）な業務」と定められており、発注者と会員の理解を得ながらワークシェアリング等により、適正就業の推進に努めます。

●就業内容等の点検を行い、不適正な就業があれば是正に努めます。

* 就業機会の開拓推進

●民間企業、家庭及び公共団体に對する就業機会の掘り起しを行い、就業機会の開拓に努めます。

●介護認定の要支援者に対する訪問型サービス（身体介護を含まない簡易な生活支援）への参入をめざして、会員募集と養成研修に取り組むとともに、他シルバーの事例も参考にしながら就業開拓の研究に取り組めます。

* 会員拡大の推進

●管内公共施設等での入会説明会

の開催やチラシの配布等によるシルバー事業のPRを行い会員の拡大に努めます。

●女性会員比率向上のため、子育て支援や家事援助事業、新たな訪問型サービスの養成研修開催など、職域拡大を図り女性会員の拡大に努めます。

* その他の事業

●一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業については、兵庫県シルバー人材センター協会と連携しながら引き続き実施します。

予算

【収益】

受託事業収益については、平成二十七年度は前年度比1.1%の増となったこと等を考慮し、二十七年当初步算比0.3%の増を見込み、経常収益計は、前年度当初步算比0.1%の減を見込みました。

【費用】

受託事業収益の増加に伴う会員への配分金は、前年度当初步算比0.6%の増を見込みました。その他の経費についても所要見込額を計上しました。

その結果、収支見込額は251万9千円の赤字予算の編成となりました。

また、会員数が前年度より二十人増加し、就業延べ人数も前年度より2.4%増加しました。

〈経常収益〉 822,667千円

受託事業(含む。市道管理) 790,884 千円

■派遣事業	1,425千円	会 費	2,071千円
補 助 金	28,040千円	その他	247千円

〈経常費用〉 830,022千円

事業費 816,005千円(配分金 721,765千円)

■管理費 14,017千円

会員の状況

区 分	平成27年度末	平成26年度末
男	608人	606人
女	306人	288人
計	914人	894人
平均年齢	70.8歳	70.4歳



頭の体操



漢字ナシク口

今日

「シェ〜!」はナウイですか？

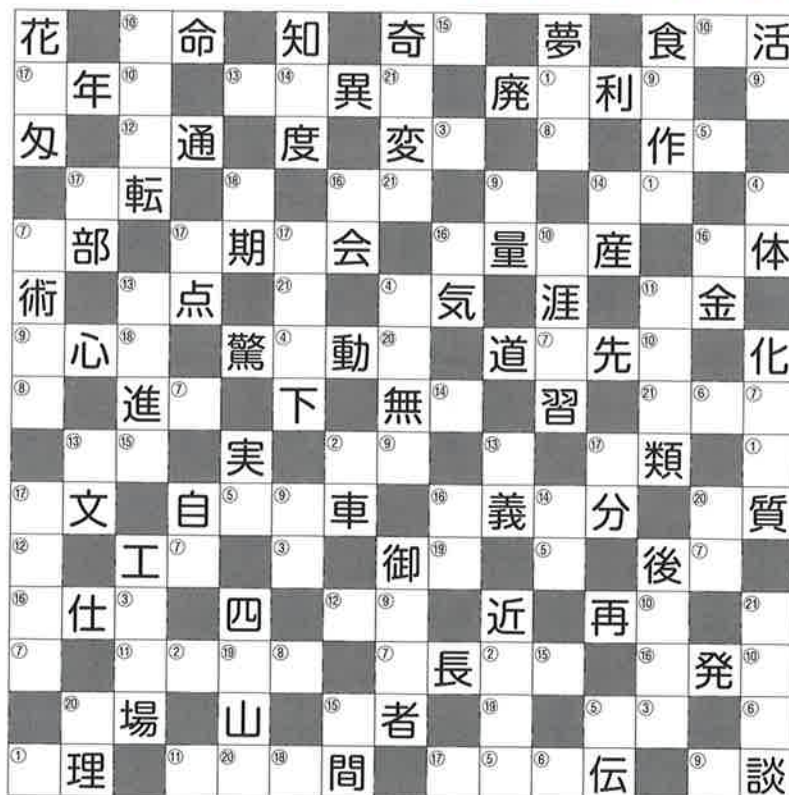
初心者の方でも安心して解ける漢字ナンクロです！
同じ数字には同じ漢字が入ります。

問題を解いて対応表を完成させ、2つの二字熟語を答えてください。

解答

18
2
6

12
15
8



ふるつていふ募ぐたせら

全問正解者の中から抽選で15名の方に、2,000円の商品券が当たります。
8月末日までに郵便またはFAXで、事務局まで提出してください。

对应表

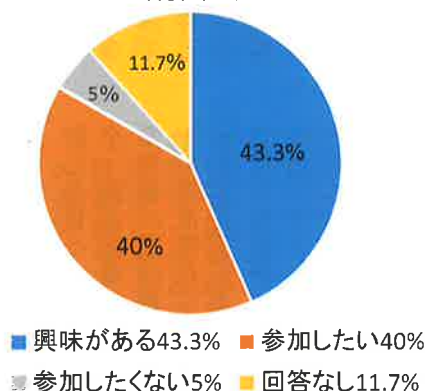
[illegible]

アンケート調査について

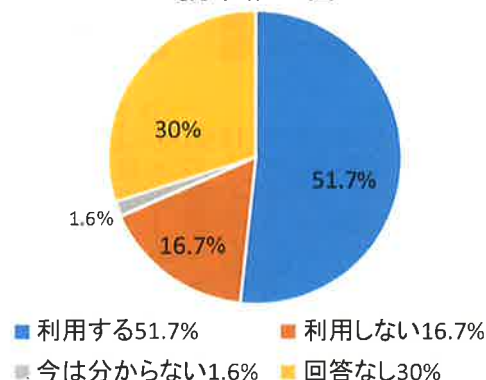
西脇・多可シルバー人材センターの就業開拓のため、アンケート調査を実施したところ
たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。皆さんからのご要望を纏めました。

これからもシルバーの発展のため、会員皆さんの就業のためご協力くださるようお願いいたします。

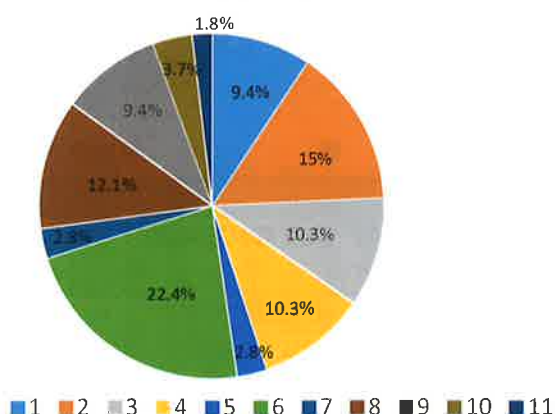
講習会



就業相談日



希望する仕事



- 1. 植木の剪定9.4%
- 2. 草刈・草引き15%
- 3. お墓掃除10.3%
- 4. 空き家の管理(掃除等)10.3%
- 5. 事務系2.8%
- 6. 施設管理(宿日直・掃除・受付・電話対応等)22.4%
- 7. 子育て支援(託児・登下校の見守り等)2.8%
- 8. 家事援助(清掃・洗濯・買い物等)12.1%
- 9. 農作業(苗植え・収穫作業等)9.4%
- 10. その他3.7%
- 11. 回答なし1.8%

シルバー人材センターへの要望

- 1 経験とスキルをつみたい
- 2 健康管理のため仕事がしたい
- 3 木の剪定に生きがいを感じる
- 4 パソコン以外興味がある。シルバーに入ってよかった
- 5 仕事の斡旋をしてほしい
- 6 週6時間程度就業したい
- 7 もっと仕事をまわしてほしい
- 8 週1回程度、子育て支援について詳細が知りたい
- 9 文書作成・伝票整理・計算集計・宛名書き・パソコン講習等を受講したい
- 10 仕事配置依頼(偏ることなく適材適所ローテーションして配置するよう努力してほしい)
- 11 草引き、農作業等できそう。ただし自転車



相談日等の開催を検討しています。日程等の詳細が決まり次第お知らせします。

安全・適正就業推進委員会からのお知らせ

当センターの平成27年度の事故状況は、残念ながら会員の傷病事故が平成26年度より6件増加し27件となりました。平成26年度は通院のみでしたが、平成27年度は入院が7件と多発し、入院日数は最短5日から最長138日となり、入院日数30日以上、事故が4件と、通院も含めて重傷事故が多く発生しました。

これら27件の事故は、第三者に責任がある2件を除いては、いずれも慣れた作業中や就業途上の事故でした。慣れた就業場所や通り慣れた道路であっても、油断をしないで「自分の身は自分で守る。方法は安全確認！」を忘れないで、確実に安全確認を行い、事故の無いように注意をしてください。

また、会員が就業中に第三者に損害を与えた賠償事故も13件と多発し、センターが加入する損害賠償保険等での賠償を行いました。

全国シルバー人材センター事業協会では、『見逃すな ヒヤリで済んだあの経験』をスローガンとして、今年度も7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、事故撲滅に向けて取り組むこととしています。

当センターにおいても、安全就業の推進として、次の3点に取り組んでいくこととしています。

①安全・適正就業ハンドブックを改訂し会員への配布による啓発や安全・適正就業推進委員等による作業現場の巡回指導を強化し、就業中の事故防止に努めます。

②健康診断の受診を促すとともに、会員の健康状態の把握に努めます。また、センターだより等を通じて、会員各自での健康管理を促します。

③夏季の熱中症対策や事故多発時等に、必要に応じて啓発文書を配布し、会員への注意喚起に努めます。会員の皆様におかれましても、日頃から意識して安全な就業に努めていただきますよう、お願いします。

また、就業現場の巡回指導については随時実施致します。

また、適正就業の推進につきましても、次の2点に取り組んでいくこととしています。

①シルバー人材センターにおける会員の就業は「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」と定められており、発注者と会員の理解を得ながらワークシェアリング等により、適正就業の推進に努めます。

②会員の就業内容等について点検を行い、不適正な就業があれば発注者及び会員への啓発により是正に努めます。

西脇・多可シルバー人材センターの事故発生状況

(1)会員の負傷事故

平成27年度中

事故の状況	事故の内容	傷害の状況
就業中	木の伐採中にチェーンソーのエンジン停止操作を誤り、左手首を負傷した。	左手首10針縫合
就業中	荷物をもって階段を降りる途中に転倒し、負傷した。	右足首付近骨折
就業中	剪定作業中に蜂に刺され、意識不明となり、救急搬送された。	ショック症状で、ICUで治療
就業中	木の伐採中に、転落して負傷し、ドクターヘリで救急搬送された。	右臉上切創11針縫合、左手首複雑骨折（入院6日）
就業途上	通勤途上に運転を誤り、側溝に転落して負傷し、救急搬送された。	内臓出血、左膝複雑骨折、股関節骨折（入院138日）
就業中	道路の草刈り中に、気分が悪くなり受診した。	熱中症（入院5日）
就業中	刈り草の積み込み中に、軽ダンプより転落し救急搬送された。	背骨圧迫骨折（入院47日）
就業中	草刈り作業中に転倒し、刈払機の刃で負傷した。	右足親指切創で縫合（入院36日）
就業中	笹竹伐採中に、刈払機の刃が倒木に当たり、その反動で刈払機のハンドルが目当たり負傷した。	左目負傷で手術、視力低下の後遺症（入院5日）
就業中	倉庫内作業中に段差を踏み外し、負傷した。	左足アキレス腱切断（入院70日）

※傷害事故27件中、一部を記載。

(2)会員就業中の損害賠償事故

平成27年度中

場所	事故状況	損害の程度	対応
公園 駐車場 道路 空き地	刈払機による草刈り作業中に小石が跳び、駐車中の自動車や走行中の自動車のフロントや窓のガラスを損傷した事故が7件発生した。	側面の窓ガラスの破損（4件） フロントガラスの破損（2件） リアガラスの破損（1件）	センターが加入する賠償保険で修理した。
処分場	重機を操作中に、トラック荷台を損傷した。	荷台床板4枚を破損	

※賠償事故13件中、一部を記載。

「自分の身は自分で守る。」方法は「安全確認」

熱中症を防ぐため&蜂に刺されたら

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

水分・塩分補給

○こまめな水分・塩分の補給

※ 高齢者、障害児・障害者の方は、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を。

熱中症になりにくい室内環境

○扇風機やエアコンを使った温度調整

○室温が上がりにくい環境の確保

(こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など)

○こまめな室温確認、WBGT値の測定

体調に合わせた取り組み

○こまめな体温測定

(特に体温調整が十分でない高齢者、障害児・障害者、子ども)

○通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用

○保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却

外出時の準備

○日傘や帽子の着用

○日陰の利用、こまめな休憩

○通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用

無理をしてエアコンを使わないと体調を崩すことがあります！

熱中症になった時の処置は・・・

1. 涼しい場所へ避難させる
2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす
3. 水分・塩分を補給する

自分で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう！

●蜂に刺されてしまった場合の、おおまかな処置の流れは次のようなものです。

1. 速やかにその場から離れる	蜂のいる場所から遠ざかり、まず、安全を確保します。
2. 傷口を洗い毒を絞りだす	患部には蜂の毒が残っていますので、これを取り除きます。
3. 傷口に薬を塗り、傷口を冷やす	刺された傷口は、薬の塗布と、冷却が適切な対応です。
4. 早めに医療機関を受診する	医療の専門家に診てもらってください。特にショックの兆候があらわれたら至急、受診を。

「六十路半ばの

夢もよう」

「落語、都々逸、芝居じや女形(おやま)六十路半ばの夢もよう」これは二年程前の自作の都々逸。落語の枕にも使っている。

落語は若い頃から好きだったけど遣ろうとはさらさら思わず、ところが七年前、生涯学習講座に新しく落語

講座ができると知って、どんなものかと覗いた縁で今がある。プロの桂九雀師匠との相対の稽古は私にとって正に至福の時間。素人相手にこれでもかという位に親切に指導して頂いている。落語は一人芝居のようなもの。その断の背景や登場人物の気持を理解して喋らなければならぬ。前に「趣味で落語をやっている」と言った時「ええ事しよるな。座ってアホな事言ううとったら良えのやから」と言った人がいたが「アホな事言いなはんな。そんな物やないですよ。落語は」

都々逸は七七五で作る日本の定型詩の一つとされている。短歌俳句川柳と同じように。短歌や俳句等は多くの人が楽しんでおられるけど、ちょっと小粋な味のする都々逸を作る人はまだまだ少ない。都々逸にハマるきっかけは、ある投稿サイトへの「初投稿で初入选」その作品が「酒の力を借りでもしなきゃ お前に言えないことがある」去年の常陸太田市主催の第二十九回都々逸全国



上原 敏伸



募集中

働く意欲のある方を

随時募集しています。

就業は、臨時的かつ短期的又は軽易な仕事です。現在シルバー会員の皆さん、お友達やお知り合いを新会員にお誘いいただき、共に働き生きがいのある充実を図りましょう。

皆さんの

原稿を募集します!!

会員の皆さんの情報発信の場として活用すべく、原稿を随時募集しております。センターに入会しての感想、趣味や特技、私の生きがい、最近の出来事などの原稿や、俳句・短歌・川柳・絵画・書道・写真など何でも結構です。センター事務局までどしどしお寄せ下さい。

問い合わせ

西脇市支部 23-5686
多可町支部 32-2209

大会で佳作を頂いた作品が「数打ちゃそのうち命中すると割れて砕けた恋いくつ」五年程の悲願がやっと叶いました。

芝居も年一回楽しんで遣らせて貰っている。中村町の同級生らで一座を作り、村の敬老会が発表の場。歌あり笑いあり涙ありチャンバラあり。お陰様で喜んで頂いているようだ。去年は町の喜寿敬老会でも遣らせて貰った。六十路半ばも過ぎてはいるが、一人で又、みんなで稽古練習に励み、頭をヒネっている時が一番いい時間。そして皆さんに喜んで頂きそれを見て自分自身も喜ぶ。こんな夢のような時間がもう暫く続いて欲しい。

ホームページリニューアル

3月からホームページが新しく生まれ変わりました。もっと見やすく、わかりやすく、情報の提供等も更新できるようにしていきますので、多くの方のアクセスをお待ちしております。 <http://webc.sjc.ne.jp/nisitaka/>



新任で挨拶

今年の四月から西脇支部でお世話になっております、中村綾沙と申します。至らない点があるかと思いますが、一日でも早く皆様のお役にたてるよう努力してまいります。お気付きの点がありましたら、ご指導のほどよろしくお願い致します。



中村 綾沙